

主な出来事

【内政】

- 4月4日、ロウレンソ大統領は平和の日式典に出席し、平和の重要性につき訴えた。
- 4月15日より新型コロナ関連水際対策等が更新された。
- 4月25日、第3回閣僚理事会経済委員会はビジネス環境改善計画 2023-2024 を承認した。

【外交】

- 4月5日、メディナ／ポルトガル財務大臣がルアンダを訪問し、ロウレンソ大統領表敬、カエタノ経済企画大臣との会談、ダヴェス財務大臣と財政協力に関する2つの覚書への署名を行った。
- 4月14日、タオ当地中国大使とロペス外務副大臣は、ルアンダ総合病院の近代化・機材設備の充実を目的とした法的文書に署名。
- 4月25～26日、ネーハマー／オーストリア首相がルアンダを訪問し、ロウレンソ大統領表敬の他、アンゴラ・オーストリア経済フォーラムに出席。
- 4月27日、アンゴラは米国との間でオープンスカイ航空サービス協定及び民間航空部門における協議に関する覚書に署名。

【経済】

- 4月3日、TAAG社は伯GOL社との間で、コードシェアにかかる協定に署名。
- ANPGは、本年9月30日から、コンゴ盆地及びクワンザ盆地での石油利権付与に係る国内外を対象とした入札を開始すると発表。
- IMFは、2023年のアンゴラの経済成長率は3.5%へと向上し、インフレ率は11.7%に低下するとの見通しを発表。

* 本月報は当地主要紙 Jornal de Angola 紙を中心に、月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです。

承認され、同党重鎮や元軍人等から構成されている。

内政

1. ロウレンソ大統領の MPLA 名誉理事会出席

4月1日、ロウレンソ大統領は MPLA 名誉理事会に出席し、4時間に亘り同理事会関係者との会合を行った。同会合にて、アンゴラの開発、国民の生活状況に話が及び、理事会関係者からは、ロウレンソ大統領の政治、経済、社会、外交面における貢献につき称える声が上がった。MPLA 名誉理事会は、2021年12月の第8回 MPLA 党大会にて

2. ロウレンソ大統領の平和の日式典出席

4月4日、ロウレンソ大統領は平和の日式典に出席し、ドス・サントス前大統領のこれまでの平和構築に尽力してきた名誉を称えると共に、平和の重要性につき訴えた。同式典には、アナ・ロウレンソ大統領夫人の他、エスペランサ副大統領、その他政治関係者が出席した。

3. 新型コロナ関連水際対策等の変更

4月14日、ロウレンソ大統領は新型コロナ関連水際対策等を更新する大統領令に署名し、4月15日午前0時から施行された。これにより、出入国時には、ワクチン接種証明書の提示または渡航前48時間以内に実施されたRT-PCR検査で陰性であることの提示が必要(12歳未満の子どもは提示不要)となった。また、病院や薬局でのマスクの着用が義務付けられた。

4. ロウレンソ大統領の検察庁新庁舎開設式典出席

4月27日、ロウレンソ大統領は検察庁新庁舎開設式典に出席した。同式典には、ヘルダー・グロス検事総長の他、イノセンシア・ピント初代副検事長が出席した。

5. 閣僚理事会経済委員会におけるビジネス環境改善計画の承認

4月25日、第3回閣僚理事会経済委員会においてビジネス環境改善計画2023-2024が承認された。同計画には、基本的な活動やマイルストーン、実行責任主体、期限、優先順位が示されている他、同会議では長期戦略「アンゴラ2050」に関する検討が行われ、今後、公開協議に付される予定。

外交

1. セルケイラ国会議長の大湖地域議員フォーラム出席

4月1日、南スーダン・ジュバで開催された大湖地域議員フォーラムにて、セルケイラ国会議長は、同地域で活動中の武装グループの即時停戦、同地域の和平及び持続可能な安定を求めた。

2. アンゴラ・ポルトガル間での財政協力に関する協定への署名

4月5日、フェルナンド・メディナ／ポルトガル財務大臣はルアンダを訪問し、ロウレンソ大統領を表

敬やカエタノ経済企画大臣との会談のほか、ダウエス財務大臣との間で財政協力に関する2つの覚書(資金洗浄及びテロへの資金流通対策、ムシマ地区インフラ建設フェーズ1への融資)への署名を行った。同覚書への署名により、ポルトガル政府からの融資額が約15億から約20億ユーロに拡大された。

3. 伯との航空海上分野における二重課税防止協定等への署名

4月5日、アンゴラ伯合同委員会出席のため伯を訪問中のアントニオ外務大臣とマウロ・ヴィエイラ伯外務大臣との間で、航空海上分野における二重課税防止協定、保健分野及び航空技術協力分野、オープンスカイ、バツハ・ド・ダнде工業地区開発、交通事故予防にかかる調査、外交研修所間の協力等に係る覚書の7つの法的文書への署名が行われた。

4. 中国によるルアンダ総合病院の近代化・改修への協力

4月14日、ゴン・タオ当地中国大使とロペス外務副大臣は、ルアンダ総合病院の近代化・機材設備の充実を目的とした技術支援プロジェクト第2期の引渡・受領証明書に署名した。同病院は、アンゴラ・中国間の二国間協定に基づき建設され、中国企業CTCEが支援していた。

5. ゴン・タオ当地中国大使によるダ・コスタ副大統領表敬

4月20日、ゴン・タオ当地中国大使はダ・コスタ副大統領を表敬し、二国間の外交・商業・技術関係について協議した。同大使は、中国はカクロ・カバツサ水力発電所、新ルアンダ国際空港等の現在進行中のプロジェクト、および国民経済分野への投資、若者向けの奨学金の資金提供等の協力を継続すると述べた。

6. オーストリア首相のアンゴラ訪問

4月25日から26日、カール・ネーハマー／オーストリア首相はルアンダを訪問し、ロウレンソ大統領表敬の他、アンゴラ・オーストリア経済フォーラムに出席した。ロウレンソ大統領は同首相に対し、アンゴラ南部における干ばつ対策プロジェクトへのオーストリアの協力を要請。同首相は、当地での新たな投資機会を探り、アンゴラとのパートナーシップを強化することに向けた意欲を示した。

7. 米国・アフリカ軍事情報局長会議の開催

4月25日、ルアンダにて、米国・アフリカ軍事情報局長会議が開催された。同会議には29か国が参加しており、当地米国大使館は、同会議は米国アフリカ司令部 (AFRICOM) とアンゴラ政府の共同開催であり、AFRICOM が二国間関係の深化を重視していることを補強するものであると述べた。

8. 米国とのオープンスカイ協定等への署名

アンゴラと米国は、オープンスカイ航空サービス協定及び民間航空部門における協議に関する覚書に署名。ルアンダ新国際空港が本年11月に操業開始を予定していることを踏まえ、健全な競争に基づいて両国間の国際航空路線を促進することを目的としている。

9. CPLP 第9回環境大臣会合の開催

4月28日、ダ・コスタ副大統領及びカルバーリョ環境大臣はルバンゴ市にて開催されたCPLP第9回環境大臣会合に出席した。同副大統領は、パリ協定で定められた2050年までのCO2排出ゼロ実現等、世界的な環境保護の取り組みに貢献するため、国内外において環境問題の優先順位を高めている旨述べた。

経済

1. カファー水路補修工事の第一フェーズ完了

4月3日、客年2月の大雨により破損したカファー

湖から分岐する全長160キロの水路の補修工事第一フェーズが完了した。カファー水路はアンゴラ政府が南部地域の干ばつ解消のためのプログラムとして創設した5つのプロジェクト群の一つであり、25万頭の家畜への給水及び5,000ヘクタールの農地への灌漑が可能。なお、同事業は中国企業Sinohydro社によって実施されている。

2. TAAG社の伯GOL社とのコードシェア提携への署名

4月3日、TAAG社と伯GOL社の間で、コードシェアにかかる協定への署名が実施され、TAAGは、伯内13都市へのコードが可能となり、ラテンアメリカ、アフリカ、欧州間の往来活性化が期待される。

3. ダヴェス財務大臣の2023年世銀・IMF合同春期会合の出席

4月10日から16日にかけて、ダヴェス財務大臣は、2023年世銀・IMF合同春期会合に出席した。同大臣は、ハイレベルセッションに参加したほか、国際金融機関との協議に出席。アンゴラの最優先事項である経済多角化と雇用の創出を実現すべく、民間セクター及び官民パートナーシップを中心に据えた戦略を展開していくことを強調した。

4. アンゴラ地質研究所(IGEO)の新役員就任

4月17日、アンゴラ地質研究所(IGEO)の新理事会発足式において、アゼベド鉱物資源・石油・ガス大臣はエネルギー移行プロセス、肥料の製造、住民の生活向上に貢献するインフラの建設に必要な鉱物が存在する地域の特定プロセスを加速するため、あらゆる手段を活用するよう促した。

5. ANPG、石油鉱区の割り当てに伴う入札事前告知を開始

国家石油・ガス・バイオ燃料庁(ANPG)は、本年9月30日から、コンゴ盆地及びクワンザ盆地での石油探査のための、国内外を対象とした「2023年石油利権付与のための入札」を開始すると発表した。

6. 2023 年の経済成長率は 3.5%の見込み

国際通貨基金 (IMF) は、アンゴラの経済成長率が今年 3.5%、2024 年には 3.7%へと向上し、インフレ率は 2022 年の 21.4%から今年 11.7%に低下するとの見通しを発表した。

(了)